

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果・分析と課題 (授業改善)

校長 花房 康之

4月18日に3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。国語、数学、英語の3教科について、本校の結果より、今後の授業改善について報告をさせていただきます。

1 調査結果

	国語		数学		英語	
	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)
久留米中学校	9.4/15	63	6.7/15	45	6.8/17	40
東京都(公立)	10.8/15	72	8.2/15	54	8.8/17	52
全国(公立)	10.5/15	69.8	7.6/15	51.0	7.7/17	45.6

2 国語観点別結果・分析と課題(授業改善)

評価の観点	平均正答率		
	本校	東京都 (公立)	全国 (公立)
知識・技能	59.6	70.1	69.4
思考・判断・表現	65.6	72.9	69.7

○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができていないため、音読の回数を増やし、定着できているかどうか小テストをして確認し、教員がつまづきやすいものをピックアップして再度指導する。

○「おし量って」の「おし」は無回答率が低かったのですが、間違えて「押し」と書いてしまった生徒が多いと考えられる。同訓異字などの単元で教科書では選択する問題が記載されているが、書く活動を通して漢字に慣れるようにする。聞くこと話すことの単元で、ワークシートなどを工夫して

○インタビューの問題で無回答率が高かったため、自分の考えを必ずもつように指導する。

3 数学観点別結果・分析と課題(授業改善)

評価の観点	平均正答率		
	本校	東京都 (公立)	全国 (公立)
知識・技能	53.5	58.7	55.7
思考・判断・表現	27.8	45.8	41.6

○観点別で見たとき、思考・判断・表現の分野での正答率が低い。授業でも問題を正しく理解し、読み取り解くことが困難であると考えられるので、時間をかけて丁寧に指導する。

○データの活用の正答率はいいが、関数・図形は無回答が多い。復習する習慣が定着していないため、授業で習ったばかりの単元以外への理解度が不十分である。多くの類似問題を用意する。

○計算力は定着するようにねばり強く指導していく。繰り返し課題に取り組ませ、ポイントをおさえて解けるように指導する。

4 英語観点別結果・分析と課題(授業改善)

評価の観点	平均正答率		
	本校	東京都 (公立)	全国 (公立)
知識・技能	44.7	57.9	51.5
思考・判断・表現	34.5	44.8	38.8

○読むこと 概要をつかむ、単語の意味を予測し文を読むことが苦手。語彙力不足。単語を繰り返し毎時間練習する。長文に慣れるために読解問題に取り組む際は、スモールステップで概要把握、段落ごとの読み取りと詳細の読み取りを通じて長い文章を読むことに慣れさせる。

○書くこと 授業内容での実践練習が不足。言語使用場面が不足。新出語句は活用する演習を取り入れる。難しい表

現を簡単なものに言い換える練習をスピーキング活動で継続して取り組む。また場面描写、リテリング(英文を聞いたり読んだりした後、キーワードや絵をヒントに、英文を再構成して自らの言葉で話す活動)などの活動を通して書く力につなげていく。